

肛門管癌に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年10月23日 ～ 2021年12月31日

〔研究課題〕

肛門管癌の病態解明と Staging に関する研究

〔研究目的〕

肛門管とは、腸管と皮膚の接合部であり、多彩な組織を有している部位です。そのため、その肛門管に発生する癌も多彩ですが、現状の日本の治療指針はこの多彩な癌に対応しているとは言えず、また、欧米と日本では病態に大きく差があるデータが報告されています。そこで、日本における肛門管癌がどのような病態なのかを調査するとともに、肛門管扁平上皮癌の実際の診療に沿った分類を行い、その治療方針の提案を行うことを目的としています。

〔研究意義〕

この研究で得られた結果を基にして、肛門管癌に対するより病態に合わせた診療を選択できるようになる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

1991年～2015年まで主病巣の部位が肛門(管)の悪性腫瘍として治療が開始された患者さんを対象に、過去の診療についてどのような癌であったか、感染があったか、既往症があったか、どのような治療をしたか等予め定めた調査項目の情報を収集し、解析を行います。過去の診療が対象になりますので、この研究の為に新たに何かをしていただくことはありません。

〔研究機関名〕

研究全体の責任者：山田 一隆

所属組織：大腸肛門病センター高野病院 外科

帝京大学の研究組織(○本学における実施責任者 ◎本学における情報管理責任者)

- | | | | | |
|---|--------|------|----------|-------|
| ○ | 橋口 陽二郎 | 帝京大学 | 医学部外科学講座 | 教授 |
| | 松田 圭二 | 帝京大学 | 医学部外科学講座 | 准教授 |
| | 野澤 慶次郎 | 帝京大学 | 医学部外科学講座 | 病院准教授 |
| | 土屋 剛史 | 帝京大学 | 医学部外科学講座 | 助教 |
| ◎ | 端山 軍 | 帝京大学 | 医学部外科学講座 | 助教 |
| | 小澤 毅士 | 帝京大学 | 医学部外科学講座 | 助教 |
| | 島田 竜 | 帝京大学 | 医学部外科学講座 | 助教 |

〔個人情報取り扱い〕

情報は、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、大腸肛門病センター高野病院に送られ、厳重に保管されます。大腸肛門病センター高野病院における情報管理責任者は医療情報センター 有働功一です。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部外科学講座 教授 橋口 陽二郎

研究分担者: 帝京大学医学部外科学講座 助教 端山 軍

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 33702]